第 15 講　【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART4 ロシアの改革と国際協調の進展

Chapter 1　ロシアの改革と北欧諸国の状況

目標　ロシアのアレクサンドル 2 世の改革運動を理解しよう。
北欧の主導権が中世から近世にかけて移り変わっていった経緯をおさえよう。

1　ロシアの改革運動

①［　　　　　　　　　　］の治世（1825 年～）

1825 年　**デカブリストの乱**（十二月党員の乱）を鎮圧
※ニコライ 1 世の即位日に，西欧の自由主義にふれた青年士官たちが，専制打倒や農奴制の解体を掲げて蜂起。

1830 年　**ポーランド**の反乱
独立を求めてポーランドの士族階級が蜂起。ロシア軍に鎮圧される

1853 年　**クリミア戦争**

②［　　　　　　　　　　　　　　］の治世（1855 年～）

1856 年　**クリミア戦争**に敗北
※ロシアの後進性が敗因と考え，近代化改革に着手。

1861 年　農奴を身分的に自由にする［　　　　　　　　　　］を布告
※農民は**ミール**（農村共同体）に帰属。不徹底な改革であった。

1863 年　**ポーランドの蜂起**
ポーランドの民族主義者が蜂起するが，ロシア軍に弾圧される
→皇帝が**専制政治**を強化

農奴解放令を宣言するアレクサンドル 2 世

③社会改革運動

1870 年代　［　　　　　　　　　　　　　　］がおこる
※知識人（**インテリゲンツィア**）や学生が「**ヴ＝ナロード**（人民のなかへ）」を標語に，平等な社会を実現しようとするが，農民の無関心で挫折。
→テロリズム（暴力主義）が台頭，要人を暗殺

1881 年　**アレクサンドル 2 世**が暗殺される

2 北欧諸国の状況

①デンマーク

1397年 デンマークの主導で**カルマル同盟**を締結。北欧3国の**同君連合**が成立

1814年 ウィーン会議（~15年）で〔　　　　　　　　　　〕を失う

1848年 三月革命で絶対王政が終わり，責任内閣制がはじまる

1864年 **デンマーク戦争**に敗北し，シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を失う

②スウェーデン

1523年 カルマル同盟から離脱

1648年 **ウェストファリア条約**（三十年戦争の講和条約）で領土を拡大。**バルト海の覇権**を握る

1721年 **北方戦争**に敗れて，**ロシア**にバルト海の覇権を奪われる

1814年 ウィーン会議で**ノルウェー**を併合

③ノルウェー

1814年 ウィーン会議でスウェーデン領となる

1814年 独自の憲法を制定

1905年 スウェーデンから平和的に独立

④フィンランド

1809年 **ロシア**に併合される

1917年 ロシア革命に際して独立

まとめ

アレクサンドル2世は農奴解放令を布告したが，農民はミールに帰属し，不徹底な改革であった。

デンマークが強国であったが，三十年戦争後スウェーデンが台頭し，北方戦争ではロシアがバルト海の覇権を握った。

Chapter 2　アイルランド問題と国際協調の進展

目標　アイルランドの独立運動がどのように進んだのかを確認しよう。
社会主義運動の国際協調について理解しよう。

1　アイルランド問題

1649 年　**クロムウェル**が**アイルランド**を征服，土地を没収する

1801 年　イギリスがアイルランドを併合

※土地の 9 割をイギリス人不在地主が占有。カトリック教徒のアイルランド人の大半が小作農となり，貧困と差別に苦しむ。

1828 年　非国教徒が公職に就くことを禁じた〔　　　　　　　　　　〕

1829 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

宗教差別が緩和され，カトリック教徒のアイルランド人も公職に就けるようになる

※独立運動の指導者**オコンネル**が尽力。

1840 年代後半　常食のジャガイモの凶作による〔　　　　　　　　　　　　〕が発生

※栄養失調などで 100 万人以上が死亡した。こののち，大量の移民が北アメリカなどに移住し，人口が激減。

19 世紀後半　アイルランド国民党による自治権要求運動が本格化

1886 年　イギリス自由党の**グラッドストン**内閣が

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を議会に提出

※ 1893 年にも提出するが，自由党の議員の多くが反対にまわり，否決される。

→これを巡って自由党が分裂

ジャガイモ飢饉の追悼碑

2 国際協調の進展

①国際的な社会主義運動

1864 年　国際労働者協会〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※各国の社会主義者がロンドンで結成した国際的な労働者組織。

1889 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結成

※各国の社会主義政党がパリで結成した国際団体で，労働問題に取り組む。

②国際的な組織や催しの誕生

A　万国博覧会

1851 年　**ロンドン**で世界初の**万国博覧会**を開催

1855 年　**パリ**で第 2 回万国博覧会を開催

B　国際赤十字

1863 年　戦時における負傷者の救護を目的に，ジュネーヴに**国際赤十字**を創設

※創設者のスイス人実業家〔　　　　　　　　〕は，ナイティンゲールの活動に影響を受けた。

C　万国平和会議

1899 年　オランダのハーグで**ハーグ万国平和会議**を開催

※ロシア皇帝ニコライ 2 世の提唱で開かれた国際会議。

D　国際オリンピック大会

1896 年　ギリシアのアテネで第 1 回**国際オリンピック大会**を開催

※スポーツを通じた国際親善を目指し，フランスの**クーベルタン**が提唱。

まとめ

カトリック教徒解放法の成立によりアイルランド人の公職就任が進んだが，19 世紀中にアイルランド自治法は成立せず，独立はできなかった。

第 1 インターナショナルは国際的な労働組合となり，第 2 インターナショナルは社会主義政党による議会闘争を進めた。

第 15 講 PART 4　確認問題

1 1825 年，ニコライ 1 世の即位の日におこった，自由主義的な青年士官による反乱はどれか。

① カルボナリの乱　② デカブリストの乱
③ ワット＝タイラーの乱　④ シモン = ド = モンフォールの乱

2 クリミア戦争の敗北を機にロシアの近代化改革に着手し，農奴解放令を発布した人物はだれか。

① ニコライ 1 世　② ニコライ 2 世
③ アレクサンドル 1 世　④ アレクサンドル 2 世

3 1870 年代のロシアで展開された，インテリゲンツィアや学生による社会改革運動はどれか。

① ナロードニキ運動　② ブルシェンシャフト運動
③ チャーティスト運動　④ ラダイト運動

4 18 世紀前半にバルト海の覇権を巡って戦われた，スウェーデンとロシアの戦争はどれか。

① 露土戦争　② 三十年戦争
③ 七年戦争　④ 北方戦争

5 1814 年のウィーン会議でノルウェーを併合した国はどこか。

① ロシア　② デンマーク
③ スウェーデン　④ プロイセン

6 アイルランド独立運動の指導者として活躍し，カトリック教徒解放法の成立に尽力した人物はだれか。

① デュナン　② バイロン
③ オコンネル　④ ガリバルディ

7 アイルランド自治法案の成立を目指した，イギリスの自由党の政治家はだれか。

① ディズレーリ　② グラッドストン
③ ウォルポール　④ ジョゼフ = チェンバレン

8 1855 年に第 2 回万国博覧会が開催された都市はどこか。

① ウィーン　② ロンドン
③ パリ　④ ハーグ

第 15 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　1825 年 12 月，自由主義を求める青年士官たちが専制打倒などを掲げて蜂起した。12 月をロシア語でデカーブリということから，蜂起した人々は**デカブリスト**と呼ばれた。

2 解答：④　**アレクサンドル 2 世**はロシアの後進性が敗因と考え，近代化改革に着手した。

3 解答：①　インテリゲンツィアや学生が，「ヴ＝ナロード（人民のなかへ)」を標語に農民に働きかけたので，**ナロードニキ運動**と呼ばれた。

4 解答：④　1700 年，ロシアはポーランド，デンマークと同盟を結び，スウェーデンに対して**北方戦争**をおこした。この戦争に勝ったロシアは，バルト海の覇権を握った。

5 解答：③　ウィーン会議によって，ノルウェーは**スウェーデン**に併合された。

6 解答：③　カトリック教徒解放法の成立に貢献した**オコンネル**は，その後，下院議員となってアイルランドの独立運動を進めた。

7 解答：②　自由党の**グラッドストン**内閣によって，1886 年と 1893 年にアイルランド自治法案が議会に提出されたが，いずれも否決された。

8 解答：③　1855 年，ナポレオン 3 世が**パリ**でフランス初の万国博覧会を開催した。